



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年2月7日

上場会社名 参天製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4536 URL <http://www.santen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 黒川 明

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーショングループ (氏名) クリストファー・TELL ホフマン 06-4802-9360

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	150,667	1.0	27,488	△63.1	26,789	△64.0	19,812	△60.3	19,813	△60.3	16,046	△71.5
28年3月期第3四半期	149,204	27.7	74,421	186.3	74,460	183.1	49,887	189.0	49,887	189.0	56,251	143.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	48.12	47.94
28年3月期第3四半期	120.59	120.04

コアベースでの連結経営成績は次のとおりです。上述のIFRSによる数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明①当第3四半期連結累計期間の業績の状況(イ)コアベース」をご覧ください。

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	150,667	1.0	33,057	△5.9	24,365	3.2	24,366	3.2	59.18	58.96
28年3月期第3四半期	149,204	27.7	35,122	23.8	23,615	26.5	23,615	26.5	57.09	56.82

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円		百万円		百万円		%	円 銭	
29年3月期第3四半期	321,249		253,966		253,111		78.8	623.43	
28年3月期	355,399		260,009		260,009		73.2	627.78	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	12.00	-	13.00	25.00
29年3月期	-	13.00	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	2.4	36,300	△54.7	36,500	△54.1	25,300	△52.6	25,300	△52.6	61.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。上述のIFRSによる数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明①当第3四半期連結累計期間の業績の状況(イ)コアベース」をご覧ください。

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		親会社の所有者に 帰属する コア当期利益		コアEPS
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	2.4	44,100	2.3	30,200	3.5	30,200	3.5	72.92

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）重慶参天科瑞製薬有限公司、除外 1社

（注）詳細は、添付資料P6「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、参天ビジネスサービス株式会社、参天アイケア株式会社および参天製薬（香港）有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めています。また、第2四半期連結会計期間において、InnFocus, Inc. を買収したため、連結の範囲に含めています。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

（注）詳細は、添付資料P6「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

- (3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	406,005,015株	28年3月期	414,191,515株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	6,531株	28年3月期	22,369株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	411,719,990株	28年3月期3Q	413,682,088株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績は、事業環境変化、新薬の承認時期、為替レート変動、医薬品行政の動向など様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成29年2月7日（火）に証券アナリスト、機関投資家向けの第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	6
3. 要約四半期連結財務諸表	7
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	7
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(資本及びその他の資本項目)	14
(子会社株式の取得による支出)	14
(売却目的で保有する処分グループ)	15
(企業結合)	16
(重要な後発事象)	17
4. 連結参考資料	18
(1) 主要製品売上収益	18
(2) 医薬品開発状況	19
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費	21

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第3四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) IFRS (フル) ベース

当第3四半期の国内医療用眼科薬市場は、薬価改定の影響を受けつつも、緑内障治療剤および抗アレルギー剤を中心に堅調に推移しました。海外医療用眼科薬市場も、EMEA（ヨーロッパ、中東およびアフリカ）・アジアで堅調に推移しています。また、国内一般用眼科薬市場は、前年同期と比べ拡大しています。

このような市場環境の下、当第3四半期の業績は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期増減率
売上収益	149,204	150,667	1.0%
営業利益	74,421	27,488	△63.1%
税引前四半期利益	74,460	26,789	△64.0%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	49,887	19,813	△60.3%

[売上収益]

前年同期と比べ微増の1,506億6千7百万円となりました。

主力の国内医療用医薬品事業において継続的に売上伸長するとともに、EMEA・アジアにおいても当社製品が順調に市場浸透していますが、円高の影響を受けました。

[営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ微増の930億3千4百万円となりました。売上原価率は38.3%でした。

販売費及び一般管理費は、事業基盤強化と新製品価値の最大化のための費用が先行したこともあり、前年同期と比べ3.5%増加の445億8千3百万円、研究開発費は159億3千万円となりました。製品に係る無形資産償却費は、47億6千1百万円となりましたが、これは主に、米メルク社から2014年に譲受けた眼科製品に関する無形資産、ならびに2015年より欧州で販売を開始した「アイケルビス」に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は2億9千4百万円、その他の費用は5億6千6百万円となりました。

これらにより、営業利益は274億8千8百万円となりました。前期に抗リウマチ薬事業のあゆみ製薬株式会社への承継に伴う一時的な収益が444億7千7百万円発生したこともあり、当期の営業利益は前年同期と比べ63.1%の減少となりました。

[税引前四半期利益]

2016年8月のInnFocus, Inc. (以下、「InnFocus社」) 買収に伴う海外への送金および保有する外貨に対する評価損により金融費用が増加したこと、また、上述のとおり、前期の抗リウマチ薬事業の承継に伴うその他の収益の影響もあり、当期の税引前四半期利益は前年同期と比べ64.0%減少し、267億8千9百万円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、上述のとおり、前期の抗リウマチ薬事業の承継に伴う収益の影響もあり前年同期と比べ60.3%減少し、198億1千3百万円となりました。売上収益に対するその比率は、13.2%となりました。

なお、事業承継に伴う収益や一時的な金融費用の増加など、一過性の損益による影響を控除した業績とその対前年同期増減率については、コアベースの業績として次に記載しています。

(イ) コアベース

参天製薬グループではIFRS適用を機に、上述のIFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益、費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として、併せて開示します。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する収益、費用は次のとおりです。

- ・製品に係る無形資産償却費
- ・その他の収益
- ・その他の費用
- ・金融収益
- ・金融費用
- ・販売費及び一般管理費のうち企業買収に係る一過性費用

これらの項目に係る法人所得税費用を調整し、コアベースでの四半期利益を算出しています。

当第3四半期のコアベースでの業績は、以下のとおりとなりました。なお、（ ）内の数値はIFRS（フル）ベースでの業績です。

(単位：百万円)

コアベース	前第3四半期		当第3四半期		対前年同期増減率	
		(フルベース)		(フルベース)		(フルベース)
売上収益	149,204	(149,204)	150,667	(150,667)	1.0%	(1.0%)
営業利益	35,122	(74,421)	33,057	(27,488)	△5.9%	(△63.1%)
四半期利益	23,615	(49,887)	24,365	(19,812)	3.2%	(△60.3%)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	23,615	(49,887)	24,366	(19,813)	3.2%	(△60.3%)

② 当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績の状況

参天製薬グループは、医薬品事業とその他の事業セグメントから構成されます。売上収益の多くは医薬品事業によっており、その全売上収益に占める比率は、98.5%になります。

医薬品事業の売上収益は、前年同期と比べ微増の1,483億6千4百万円、営業利益は278億7千1百万円となりました。その他の事業の売上収益は、23億2百万円で前年同期と比べ14.5%増加しました。営業損失は3億8千3百万円となりました。

(単位：百万円)

	国内		海外		合計	
	金額	対前年同期増減率	金額	対前年同期増減率	金額	対前年同期増減率
医薬品事業	108,273	1.9%	40,091	△2.1%	148,364	0.8%
医療用医薬品	98,812	0.7%	40,001	△2.2%	138,813	△0.2%
うち眼科薬	98,549	4.5%	38,911	6.5%	137,461	5.1%
うちその他医薬品	263	△32.2%	1,089	△75.0%	1,352	△71.5%
一般用医薬品	9,461	17.1%	91	52.8%	9,552	17.4%
その他の事業	2,155	11.1%	147	105.8%	2,302	14.5%
医療機器	1,850	9.3%	18	△70.6%	1,869	6.5%
その他	305	23.4%	129	—	434	69.1%
合計	110,428	2.1%	40,238	△1.9%	150,667	1.0%

(注) 各セグメントの売上収益は、外部顧客に対する売上収益を表しています。

[医薬品事業]

(医療用医薬品)

<眼科薬>

[国内]

国内医療用眼科薬の売上収益は、985億4千9百万円となりました。

薬価改定の影響がありましたが、医療施設・医療関係者のそれぞれのニーズを的確に捉えた医薬情報提供活動を展開することにより、前年同期と比べ4.5%増加しています。

緑内障・高眼圧症領域においては、従来からの主力製品の「タプロス点眼液」、「コソプト配合点眼液」に加えて「タプコム配合点眼液」にも注力した結果、それぞれの製品の売上収益は、「タプロス点眼液」は前年同期と比べ6.1%増加し76億5百万円、「コソプト配合点眼液」は前年同期と比べ1.9%増加し89億9千6百万円、「タプコム配合点眼液」は前年同期と比べ73.9%増加し17億6千万円となりました。

ドライアイ（眼球乾燥症候群）などに伴う角結膜上皮障害治療剤領域においては、「ジクアス点眼液」の売上収益は、前年同期と比べ26.8%増加し84億9千6百万円、「ヒアレイ点眼液」の売上収益は、前年同期と比べ18.1%減少し、95億2千9百万円となりました。

抗アレルギー点眼剤領域においては、「アレジオン点眼液」の売上収益は、前年同期と比べ39.5%増加し、62億9千2百万円となりました。

網膜疾患治療剤領域においては、「アイリーア硝子体内注射液」の売上収益は、滲出型加齢黄斑変性を含め適応を取得した各疾患への医薬情報提供活動の促進により、前年同期と比べ13.3%増加し、353億6千1百万円となりました。

[海外]

2014年の米メルク社からの眼科製品の譲受け以降、当該製品を含めた自社製品の市場浸透に努めた結果、海外における売上収益は、大幅な円高の影響を受けたものの、円換算ベースで前年同期と比べ6.5%増加し、389億1千1百万円となりました。

EMEAにおける売上収益は、円換算ベースで前年同期と比べ11.6%増加し、208億1千1百万円となりました。医薬情報提供などの普及促進活動に注力し、緑内障・高眼圧症治療剤「タフロタン」、「サフルタン」、「コソプト」、「トルソプト」が市場に浸透しています。

アジアにおける売上収益は、現地通貨ベースでは大きく成長しましたが、円高の影響を受けたことにより円換算ベースでは前年同期と比べ微増の178億7千8百万円となりました。主力品の普及促進活動の展開により、中国を中心として、当社製品の市場浸透が進んでいます。

<その他医薬品>

その他医薬品には、技術提携（導出）契約に基づく収入、受託製造等が含まれます。また、米メルク社の眼科製品の譲受けに関し、関連する法制上の手続きが完了し、各国・地域で参天製薬グループの製品としての販売が開始されるまでの間、米メルク社側に生じた利益の一部が契約に基づいて当社に還元されます。この収入が5億4千8百万円あったことにより、その他医薬品の売上収益は、13億5千2百万円となりました。

(一般用医薬品)

インバウンド需要の取り込みに加えて、国内に向けた販売促進活動にも注力した結果、一般用医薬品の売上収益は前年同期と比べ17.4%増加し、95億5千2百万円となりました。

[その他の事業]

(医療機器)

高屈折率の亚克力素材を光学部に用いたフォールダブル眼内レンズ「エタニティ」シリーズの普及促進活動に引き続いて注力した結果、医療機器の売上収益は前年同期と比べ6.5%増加し、18億6千9百万円となりました。

(その他)

その他の売上収益は、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものとサプリメント製品の販売によるもので、4億3千4百万円となりました。

③ 研究開発活動

参天製薬グループは、中長期的な成長の源泉として新製品の創製を重視しており、眼科薬を中心とした積極的な研究開発活動を進めています。

緑内障・高眼圧症領域において、プロスタグランジンF_{2α}誘導体DE-085（一般名：タフルプロスト）は、2008年12月に日本で「タプロス点眼液」として発売しました。海外では欧州とアジアで自社販売しており、2016年3月、中国で発売しました。配合剤DE-111（一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、2014年11月に日本で「タプコム配合点眼液」として販売しており、韓国でも2016年4月に発売しました。欧州では、2014年10月に販売承認を取得し、「TAPTIQOM」（タプティコム）として2015年1月より順次、各国にて発売しています。また、アジアでも順次販売承認を申請し、2016年3月以降アジア各国で順次販売承認を取得しています。EP2受容体作動薬DE-117（一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で後期第Ⅱ相試験を終了しました。日本では2015年12月に後期第Ⅱ/Ⅲ相試験を開始しました。韓国、アジアでは第Ⅲ相試験を準備中です。2016年3月に小野薬品工業株式会社より導入しグローバルの開発権利を取得しましたFP/EP3受容体デュアル作動薬DE-126（一般名：sepetaprost）は、米国にて後期第Ⅱ相試験を準備中です。2016年8月に買収したInnFocus社の緑内障用デバイスInnFocus MicroShunt（DE-128）は、欧州におけるCEマークの承認を取得しており、FDA承認取得に向け米国および欧州にて第Ⅲ相試験を実施しています。

角結膜疾患（ドライアイを含む）領域において、DE-089（一般名：ジクアホソルナトリウム）は、2010年12月より日本で「ジクアス点眼液」として発売しました。また、韓国では2013年10月に発売しました。中国では輸入医薬品承認を申請中です。2016年2月よりアジアで順次発売しています。Cyclokot（開発品名：シクロカット、一般名：シクロスポリン、製品名：「Ikervis」（アイケルビス））は、2015年7月に、成人患者において人工涙液等で効果が不十分なドライアイに伴う重度の角膜炎を適応症として、ドイツにて発売、欧州各国にて順次発売しています。アジアでは順次販売承認を申請しており、2016年11月にタイで販売承認を取得しました。韓国では2015年12月に販売承認を申請しました。春季カタルを適応症とするVekacia（開発品名：ベカシア、一般名：シクロスポリン）は、2016年12月に欧州で販売承認を申請しました。

網膜・ぶどう膜炎領域において、ぶどう膜炎を適応症とするDE-109（一般名：シロリムス）は、米国、欧州で販売承認申請を準備中です。DE-120（一般名：未定）は、滲出型加齢黄斑変性を対象に前期第Ⅱ相試験を米国で実施中です。DE-122（一般名：carotuximab）は、滲出型加齢黄斑変性を対象に第Ⅰ/Ⅱ相試験を米国で実施中です。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第3四半期末の資産は、前期末と比べ341億5千万円減少し、3,212億4千9百万円となりました。これは法人所得税等の支払いおよび自己株式の取得による現金及び現金同等物の減少などによるものです。

資本は、前期末と比べ60億4千3百万円減少し、2,539億6千6百万円となりました。これはその他の資本の構成要素の減少などによるものです。

負債は、前期末と比べ281億7百万円減少し、672億8千3百万円となりました。これは法人所得税等の支払いによる未払法人所得税等および金融負債の減少などによるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ5.6ポイント増加し、78.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、3億7百万円の収入（前年同期は、179億6千3百万円の収入）となりました。これは四半期利益が198億1千2百万円、減価償却費及び償却費が73億1千5百万円および法人所得税費用が69億7千6百万円などありましたが、法人所得税の支払いが236億6千4百万円、営業債権及びその他の債権の増加が78億3千万円および営業債務及びその他の債務の減少が19億3千2百万円あったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、247億6千1百万円の支出（前年同期は、388億4千2百万円の収入）となりました。これはInnFocus社の買収に伴う子会社株式の取得による支出が190億6千4百万円、有形固定資産の取得による支出が36億6千4百万円および無形資産の取得による支出が30億6千3百万円あったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、263億6千2百万円の支出（前年同期は、183億3千3百万円の支出）となりました。これは長期借入れによる収入が30億円ありましたが、自己株式の取得による支出が123億8千万円、配当金の支払いが106億4千6百万円および長期借入金の返済による支出が72億3千7百万円あったことなどによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前期末と比べ516億9千7百万円減少し、481億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2016年8月2日に公表した連結業績予想は修正していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、2016年8月22日に中国重慶市に以下の合弁会社を設立し、当該合弁会社は当社の連結子会社となりました。当該合弁会社の資本金は、当社資本金の10%以上に相当し、特定子会社に該当します。

- | | |
|-------------|---|
| ① 名称 | 重慶参天科瑞製薬有限公司 |
| ② 所在地 | 中国 重慶市 |
| ③ 代表者の役職・氏名 | 董事長 Shaohong Li
（重慶科瑞製薬（集団）有限公司董事長）
董事 兼 総経理 Ye Liu
（当社執行役員 参天製薬（中国）有限公司総経理） |
| ④ 事業内容 | 眼科薬の製造・販売 |
| ⑤ 資本金 | 2億 人民元（約30億円）（注） |
| ⑥ 設立年月日 | 2016年8月22日 |
| ⑦ 大株主及び持株比率 | 重慶科瑞製薬（集団）有限公司 51%
参天製薬（中国）有限公司 49% |

（注）1人民元を15円として換算しています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の新たに適用する基準書を除き、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

これらを適用したことによる参天製薬グループの要約四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

基準書		強制適用時期 (以降開始年度)	参天製薬グループ 適用時期	新設・改訂の概要
IAS第16号	有形固定資産	2016年1月1日	2017年3月期	減価償却の許容される方法の明確化
IAS第38号	無形資産	2016年1月1日	2017年3月期	償却の許容される方法の明確化

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上収益		149,204	150,667
売上原価		△56,731	△57,633
売上総利益		92,474	93,034
販売費及び一般管理費		△43,067	△44,583
研究開発費		△14,284	△15,930
製品に係る無形資産償却費		△4,589	△4,761
その他の収益	3	44,835	294
その他の費用		△948	△566
営業利益		74,421	27,488
金融収益		761	874
金融費用		△723	△1,573
税引前四半期利益		74,460	26,789
法人所得税費用		△24,573	△6,976
四半期利益		49,887	19,812
その他の包括利益			
純損益に振り替えられない項目：			
確定給付制度の再測定		—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産の純変動		6,689	△6,451
純損益に振り替えられる可能性のある項目：			
在外営業活動体の換算差額		△325	2,685
その他の包括利益		6,365	△3,766
四半期包括利益合計		56,251	16,046
四半期利益の帰属			
親会社の所有者持分		49,887	19,813
非支配持分		—	△1
四半期利益		49,887	19,812
四半期包括利益合計の帰属			
親会社の所有者持分		56,251	16,023
非支配持分		—	23
四半期包括利益合計		56,251	16,046
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		120.59	48.12
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		120.04	47.94

※コアベース

売上収益	149,204	150,667
コア営業利益	35,122	33,057
コア四半期利益	23,615	24,365
基本的1株当たりコア四半期利益(円)	57.09	59.18
希薄化後1株当たりコア四半期利益(円)	56.82	58.96
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	23,615	24,366
非支配持分	—	△1
コア四半期利益	23,615	24,365

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	27,991	29,010
無形資産	83,681	105,247
金融資産	44,535	31,864
繰延税金資産	2,345	2,100
その他の非流動資産	2,109	1,891
非流動資産合計	160,660	170,112
流動資産		
棚卸資産	24,996	26,205
営業債権及びその他の債権	65,998	73,561
その他の金融資産	234	351
その他の流動資産	3,714	2,920
現金及び現金同等物	99,798	48,100
流動資産合計	194,739	151,137
資産合計	355,399	321,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	7,695	7,735
資本剰余金	8,389	8,360
自己株式	△24	△10
利益剰余金	221,945	219,873
その他の資本の構成要素	22,003	17,152
親会社の所有者に帰属する持分合計	260,009	253,111
非支配持分	—	855
資本合計	260,009	253,966
負債		
非流動負債		
金融負債	12,944	9,070
退職給付に係る負債	2,556	2,480
引当金	1,629	1,482
繰延税金負債	3,988	2,072
その他の非流動負債	1,043	1,501
非流動負債合計	22,161	16,605
流動負債		
営業債務及びその他の債務	24,504	22,466
その他の金融負債	19,881	17,990
未払法人所得税等	20,431	2,401
引当金	1,276	1,413
その他の流動負債	7,138	6,408
流動負債合計	73,230	50,678
負債合計	95,391	67,283
資本及び負債合計	355,399	321,249

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位:百万円)

	注記 番号	その他の資本の構成要素					
		資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	確定給付制 度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産の純変動
2015年4月1日残高		7,383	8,077	△18	178,840	—	11,944
四半期包括利益							
四半期利益					49,887		
その他の包括利益							6,689
四半期包括利益合計		—	—	—	49,887	—	6,689
所有者による抛及及び 所有者への分配							
新株の発行		212	212				
自己株式の取得				△5			
配当金					△9,925		
株式報酬取引							
その他					414		△414
所有者による抛及及び所有 者への分配合計		212	212	△5	△9,511	—	△414
2015年12月31日残高		7,595	8,289	△24	219,216	—	18,220

	注記 番号	その他の資本の構成要素			親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動 体の換算差額	新株予約権	合計			
2015年4月1日残高		5,000	553	17,497	211,779	—	211,779
四半期包括利益							
四半期利益				—	49,887		49,887
その他の包括利益		△325		6,365	6,365		6,365
四半期包括利益合計		△325	—	6,365	56,251	—	56,251
所有者による抛及及び 所有者への分配							
新株の発行			△57	△57	366		366
自己株式の取得				—	△5		△5
配当金				—	△9,925		△9,925
株式報酬取引			249	249	249		249
その他				△414	—		—
所有者による抛及及び所有 者への分配合計		—	192	△222	△9,315	—	△9,315
2015年12月31日残高		4,675	745	23,640	258,716	—	258,716

当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位:百万円)

	注記 番号	その他の資本の構成要素					
		資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	確定給付制 度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産の純変動
2016年4月1日残高		7,695	8,389	△24	221,945	—	18,676
四半期包括利益							
四半期利益					19,813		
その他の包括利益							△6,451
四半期包括利益合計		—	—	—	19,813	—	△6,451
所有者による拠出及び 所有者への分配							
新株の発行		40	40				
自己株式の取得	1		△69	△12,310			
自己株式の処分			△0	0			
自己株式の消却	1		△0	12,325	△12,325		
配当金					△10,751		
非支配持分を伴う子会社の 設立							
株式報酬取引							
その他					1,190		△1,186
所有者による拠出及び所有 者への分配合計		40	△29	15	△21,885	—	△1,186
2016年12月31日残高		7,735	8,360	△10	219,873	—	11,040

	注記 番号	その他の資本の構成要素			親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
		在外営業活動 体の換算差額	新株予約権	合計			
2016年4月1日残高		2,611	716	22,003	260,009	—	260,009
四半期包括利益							
四半期利益				—	19,813	△1	19,812
その他の包括利益		2,661		△3,790	△3,790	24	△3,766
四半期包括利益合計		2,661	—	△3,790	16,023	23	16,046
所有者による拠出及び 所有者への分配							
新株の発行			△10	△10	70		70
自己株式の取得	1			—	△12,380		△12,380
自己株式の処分				—	0		0
自己株式の消却	1			—	—		—
配当金				—	△10,751		△10,751
非支配持分を伴う子会社の 設立				—	—	832	832
株式報酬取引			138	138	138		138
その他			△4	△1,190	—		—
所有者による拠出及び所有 者への分配合計		—	124	△1,062	△22,921	832	△22,089
2016年12月31日残高		5,272	840	17,152	253,111	855	253,966

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
四半期利益		49,887	19,812
減価償却費及び償却費		6,873	7,315
減損損失		356	351
金融収益及び金融費用(△は益)		△552	1,195
法人所得税費用		24,573	6,976
処分グループ譲渡益	3	△44,477	—
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)		△7,182	△7,830
棚卸資産の増減(△は増加)		△2,559	△1,657
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)		4,853	△1,932
引当金及び退職給付に係る負債の増減(△は減少)		338	△15
その他		△1,949	△928
小計		30,160	23,287
利息の受取額		50	44
配当金の受取額		572	681
利息の支払額		△70	△42
法人所得税の支払額		△12,749	△23,664
営業活動によるキャッシュ・フロー		17,963	307
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出		△21	—
定期預金の払戻による収入		21	19
投資の取得による支出		△2,207	△116
投資の売却による収入		1,310	1,364
子会社株式の取得による支出	2	—	△19,064
有形固定資産の取得による支出		△3,639	△3,664
有形固定資産の売却による収入		34	4
無形資産の取得による支出		△1,630	△3,063
処分グループの譲渡による収入	3	45,000	—
その他		△26	△240
投資活動によるキャッシュ・フロー		38,842	△24,761
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入れによる収入		—	3,000
長期借入金の返済による支出		△8,839	△7,237
自己株式の取得による支出	1	△5	△12,380
非支配持分株主からの払込による収入		—	832
配当金の支払額		△9,826	△10,646
その他		337	69
財務活動によるキャッシュ・フロー		△18,333	△26,362
現金及び現金同等物の増減額		38,472	△50,816
現金及び現金同等物の期首残高		65,923	99,798
現金及び現金同等物の為替変動による影響		△333	△881
現金及び現金同等物の四半期末残高		104,062	48,100

- (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額	要約四半期 連結財務諸表	
	医薬品					
外部顧客への売上収益	147,194	2,011	149,204	—	149,204	
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	—	496	496	△496	—	
計	147,194	2,506	149,700	△496	149,204	
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	75,202	△781	74,421	—	74,421	
					金融収益	761
					金融費用	△723
					税引前四半期利益	74,460

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントで、医療機器事業などが含まれています。
 2 セグメント利益又は損失は、営業利益ベースの数値です。

当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額	要約四半期 連結財務諸表	
	医薬品					
外部顧客への売上収益	148,364	2,302	150,667	—	150,667	
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	—	467	467	△467	—	
計	148,364	2,769	151,133	△467	150,667	
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	27,871	△383	27,488	—	27,488	
					金融収益	874
					金融費用	△1,573
					税引前四半期利益	26,789

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントで、医療機器事業などが含まれています。
 2 セグメント利益又は損失は、営業利益ベースの数値です。
 3 InnFocus, Inc.の全株式を取得し子会社化したことにより、前連結会計年度末に比べ医薬品セグメントの資産が大幅に増加しています。

(資本及びその他の資本項目)

1. 資本およびその他の資本項目

自己株式の取得に係る事項

当社は、2016年9月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、2016年11月22日(約定ベース)をもって、8,284,000株を総額12,310百万円で取得し、自己株式の取得が全て終了しました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

株主還元強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

(2) 取得に係る事項の内容

- ①取得対象株式の種類 : 普通株式
- ②取得し得る株式の総数 : 8,284,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.0%)
- ③株式の取得価額の総額 : 130億円(上限)
- ④取得期間 : 2016年9月13日～2016年11月30日

自己株式の消却に係る事項

当社は、2016年12月14日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議し、2016年12月29日に自己株式8,300,000株を消却しました。

なお、今回消却した自己株式は、2016年9月12日開催の取締役会決議に基づき取得した自己株式を含みます。

(子会社株式の取得による支出)

2. 子会社株式の取得による支出

当第3四半期連結累計期間に株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

株式の取得により新たにInnFocus, Inc. を連結したことに伴う連結開始時の資産および負債の内訳ならびに株式の取得価額と取得のための支出(純額)との関係は次のとおりです。

固定資産	46百万円
のれん	21,400
流動資産	2,586
流動負債	△111
株式の取得価額	23,921
取得日直前に保有していた資本持分の公正価値	△2,349
現金及び現金同等物	△2,507
差引：取得のための支出	19,064

(注) のれんについては、評価検証が未了のため、暫定的な金額です。

(売却目的で保有する処分グループ)

3. 売却目的で保有する処分グループ

前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

当社は、2015年5月12日開催の当社取締役会において、当社の抗リウマチ薬に係る事業(以下、「抗リウマチ薬事業」といいます。)を、あゆみ製薬株式会社(旧 ヒュペリオンファーマ株式会社)(以下、「あゆみ製薬」といいます。)に対して承継(以下、「本事業承継」といいます。)させることを決議し、本事業承継に関し、2015年5月12日付で吸収分割契約を締結しました。当該契約に基づく吸収分割(簡易吸収分割)は2015年8月3日に完了しました。

1. 事業承継の概要

(1) 本事業承継の目的

本事業承継により、当社は眼科領域に特化し、従来にもまして専門性を高めて患者さんの高度な医療ニーズへ貢献することで、2020年までにグローバル眼科薬市場で3位以内に入ることを目指します。他方、抗リウマチ薬事業においては疾患修飾抗リウマチ薬(DMARDs)市場で国内第一位の市場シェアを有するなど、これまで確固たる市場プレゼンスを築いてまいりました。本事業承継により、当社の抗リウマチ薬事業が、整形・リウマチスペシャリティファーマを目指すあゆみ製薬に承継されることで、これまで以上に、患者さんのQuality of Life(QOL、生活の質)の向上に貢献できると考えています。

(2) 本事業承継の概要

① 会社分割の相手会社

あゆみ製薬株式会社

② 会社分割する事業の内容

抗リウマチ薬の販売・マーケティング、研究開発に係る事業

③ 吸収分割日

2015年8月3日

④ 本会社分割の方式

当社を分割会社とし、あゆみ製薬を承継会社とする吸収分割(簡易吸収分割)です。

⑤ 吸収分割に係る割当ての内容

承継会社であるあゆみ製薬は、2015年8月3日に、分割会社である当社に対して、抗リウマチ薬事業の権利義務を承継する対価として450億円の金銭を交付しました。

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

44,477百万円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

当社が、本事業承継に基づき分割する資産、負債の帳簿価額は軽微です。

(3) 会計処理

抗リウマチ薬事業の連結上の帳簿価額と、本事業承継の対価として当社が受け取った現金との差額から、外部のアドバイザーに支払った報酬の額を差し引いた金額を移転損益としてその他の収益に計上しています。

3. 分割した事業が含まれていた報告セグメントの名称

医薬品事業

4. 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に計上されている分割した事業に係る経営成績

売上収益 3,508百万円

(企業結合)

当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

InnFocus, Inc. の取得

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称: InnFocus, Inc.

事業の内容: 緑内障手術の次世代製品の開発、供給

②企業結合を行った理由

InnFocus, Inc. (以下、「InnFocus社」)は、初期から後期の原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的としたインプラント手術に用いるデバイスMicroShuntを開発しています。MicroShuntは諸外国で実施した臨床試験において単独もしくは白内障手術との併用で施術され、房水の流出を促すことによる眼圧下降効果が確認されています。MicroShuntは、既に欧州におけるCEマークの承認を取得しており、現在、FDA承認取得に向けPMA(Pre-Market Approval:市販前承認)申請の最終段階の臨床試験が、米国および欧州にて実施されています。

当社は、InnFocus社の取得により、緑内障領域における製品パイプラインのさらなる強化に取り組み、眼科領域のイノベーションをリードする存在であり続けたいと考えています。また、当社は『世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー』を長期的な経営ビジョンとして掲げており、グローバルな眼科領域においてさらなる治療貢献を目指してまいります。MicroShuntは新たな治療選択肢として、患者さんに大きな治療効果をもたらすことができると期待しています。

③取得日

2016年8月19日(米国時間)

④被取得企業の支配の獲得方法

InnFocus社に対して、現金を対価として議決権付株式を100%取得しています。

また、契約上、MicroShuntの開発の進捗および販売実績に応じたマイルストーンを支払う定めがあります。

⑤取得した議決権付資本持分割合

取得前の議決権付資本持分割合	9.56%
取得日に追加取得した議決権比率	90.44%
取得後の議決権付資本持分割合	100.00%

(2) 取得資産及び負債の公正価値、取得対価の内訳

(単位：百万円)

	暫定的な公正価値
固定資産	46
その他の流動資産	79
現金及び現金同等物	2,507
流動負債	△111
のれん	21,400
合計	23,921
現金	21,571
既存持分の公正価値	2,349
取得対価合計	23,921

これらの金額は、要約四半期連結財務諸表の作成時点において、評価検証が未了のため、暫定的な金額で報告しています。

当該企業結合に係る取得関連費用とし562百万円を「販売費及び一般管理費」に計上しています。

(3) 条件付対価

企業結合による条件付対価は、主としてMicroShuntの開発の進捗および販売実績に応じたマイルストーンであり、当社が条件付対価契約に基づき要求されうるすべての将来の支払額は409百万米ドル（割引前）です。

条件付対価の公正価値ヒエラルキーのレベルはレベル3です。

なお、条件付対価の公正価値評価は未了です。

(4) 参天製薬グループの業績に与える影響

要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に含まれる取得日以降のInnFocus社の業績は以下のとおりです。

売上収益 : 一百万円

税引前四半期利益 : △582百万円

当企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に与える影響額は以下のとおりです。（非レビュー情報）

売上収益 : 一百万円

税引前四半期利益 : △624百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位：百万円)

品目名 (有効成分・剤型)	薬効成分	地域	2016年3月期				2017年3月期			
			第3四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第3四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌 点眼剤	合計	11,528	9.5%	14,250	6.4%	10,140	△12.0%	11,437	△19.7%
		日本	4,821	△6.9%	5,918	△8.9%	3,800	△21.2%	4,439	△25.0%
		アジア	5,632	32.8%	7,001	29.1%	5,380	△4.5%	5,689	△18.7%
		欧州	1,075	△3.4%	1,331	△10.0%	961	△10.6%	1,309	△1.6%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌 点眼剤	合計	1,465	△8.0%	1,761	△7.8%	1,314	△10.3%	1,561	△11.4%
		日本	548	△10.2%	673	△11.7%	456	△16.7%	551	△18.1%
		アジア	917	△6.6%	1,088	△5.2%	858	△6.5%	1,010	△7.2%
		欧州	-	-	-	-	-	-	-	-
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障 治療剤	合計	1,123	405.4%	1,534	302.3%	2,087	85.8%	2,774	80.9%
		日本	1,012	359.0%	1,381	303.3%	1,760	73.9%	2,239	62.2%
		アジア	-	-	-	-	20	-	27	-
		欧州	111	-	153	292.8%	306	174.9%	508	231.9%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障 治療剤	合計	12,044	29.5%	15,633	26.8%	12,780	6.1%	17,030	8.9%
		日本	7,170	13.7%	9,168	10.1%	7,605	6.1%	10,285	12.2%
		アジア	864	44.5%	1,097	34.3%	983	13.9%	1,251	14.0%
		欧州	4,010	67.1%	5,368	68.6%	4,193	4.6%	5,487	2.2%
		その他	-	-	-	-	-	-	7	-
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障 治療剤	合計	15,711	81.8%	20,583	65.0%	17,020	8.3%	21,610	5.0%
		日本	8,829	7.4%	11,214	4.9%	8,996	1.9%	11,719	4.5%
		アジア	1,908	383.7%	2,493	179.6%	1,876	△1.7%	2,381	△4.5%
		欧州	4,974	-	6,876	666.4%	6,145	23.6%	7,451	8.4%
		その他	-	-	-	-	3	-	59	-
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障 治療剤	合計	1,538	64.7%	1,930	52.3%	1,168	△24.1%	1,414	△26.7%
		日本	964	4.0%	1,182	△2.8%	788	△18.2%	902	△23.7%
		アジア	108	-	140	380.8%	90	△16.9%	118	△15.6%
		欧州	467	-	608	-	290	△37.9%	393	△35.3%
チモプトールXE点眼液 (チモロールマレイン酸塩持続性点眼液)	緑内障 治療剤	合計	1,971	34.4%	2,463	24.1%	1,891	△4.1%	2,411	△2.1%
		日本	1,522	4.7%	1,886	△1.6%	1,303	△14.4%	1,558	△17.4%
		アジア	66	505.8%	87	221.9%	66	△1.3%	81	△6.9%
		欧州	383	-	489	-	522	36.5%	772	57.7%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障 治療剤	合計	3,471	225.6%	4,561	146.2%	3,342	△3.7%	3,647	△20.0%
		日本	1,725	66.6%	2,125	37.6%	1,383	△19.8%	1,533	△27.9%
		アジア	391	-	446	706.0%	207	△47.1%	240	△46.1%
		欧州	1,355	-	1,990	688.7%	1,751	29.2%	1,863	△6.4%
		その他	-	-	-	-	1	-	11	-
デタントール点眼液 (ブナソシン塩酸塩点眼液)	緑内障 治療剤	日本	903	△6.0%	1,117	△9.1%	851	△5.8%	1,060	△5.1%
レスキュラ点眼液 (イソプロビルウノプロスト点眼液)	緑内障 治療剤	日本	1,492	△1.7%	1,845	△4.7%	1,321	△11.5%	1,666	△9.7%
アレジオン点眼液 (エピナスチン塩酸塩点眼液)	抗アレルギー 点眼剤	日本	4,510	55.9%	9,483	41.6%	6,292	39.5%	11,741	23.8%
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症 点眼剤	合計	2,883	3.0%	3,775	△0.9%	2,520	△12.6%	3,277	△13.2%
		日本	1,937	△2.7%	2,655	△6.6%	1,641	△15.3%	2,219	△16.4%
		アジア	945	17.1%	1,120	15.8%	878	△7.1%	1,057	△5.6%
カリーユニ点眼液 (ピレノキシ点眼液)	老人性白内障 治療剤	合計	3,351	9.8%	4,187	7.1%	3,228	△3.7%	4,051	△3.2%
		日本	2,296	1.2%	2,900	△0.3%	2,271	△1.1%	2,835	△2.2%
		アジア	1,055	34.6%	1,287	28.6%	957	△9.3%	1,216	△5.5%
オベガンハイ眼粘弾剤 (ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	眼科手術 補助剤	日本	2,027	1.2%	2,568	△0.2%	1,798	△11.3%	2,318	△9.7%
アイリーア硝子体内注射液 (アフリベルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF 阻害剤	日本	31,203	76.1%	39,988	60.7%	35,361	13.3%	45,688	14.3%
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患 治療剤	合計	15,804	4.0%	19,864	1.3%	13,897	△12.1%	15,680	△21.1%
		日本	11,627	△2.6%	14,491	△5.4%	9,529	△18.1%	10,457	△27.8%
		アジア	4,177	27.8%	5,372	25.1%	4,368	4.6%	5,223	△2.8%
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患 治療剤	合計	7,228	23.3%	9,631	22.0%	9,140	26.4%	13,357	38.7%
		日本	6,700	20.9%	8,880	19.7%	8,496	26.8%	12,313	38.7%
		アジア	528	67.0%	751	57.7%	644	21.9%	1,043	38.9%
Ikervis(アイケルビス) (シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患 治療剤	欧州	317	-	751	-	834	163.1%	1,922	155.8%
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患 治療剤	合計	926	94.2%	1,453	77.3%	1,292	39.5%	2,267	56.1%
		アジア	106	208.7%	167	89.6%	147	38.0%	258	54.6%
		欧州	726	90.4%	1,029	75.7%	971	33.8%	1,712	66.4%
		北米	82	39.3%	242	68.9%	150	82.7%	243	0.5%
		その他	12	397.9%	14	493.7%	25	104.1%	53	268.9%
一般用医薬品		8,138	64.0%	11,004	64.1%	9,552	17.4%	13,849	25.9%	

※上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

(2) 医薬品開発状況

■ 医薬品開発状況一覧表(臨床段階)

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト	DE-085	緑内障・高眼圧症	旭硝子と共同開発	中国						2016年3月
プロスタグランジンF ₂ α誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。2008年12月以降、日本や欧米で発売。アジアでは香港、韓国、インドネシア、シンガポール等で発売。2016年3月、中国にて発売。										
ジクアホソルナトリウム	DE-089	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	中国 アジア				2012年1月		2016年2月
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。既存薬と異なる作用機序を持つ。2010年12月、日本にて発売。2013年10月、韓国にて発売。2012年1月、中国で輸入医薬品承認を申請中。2016年2月にベトナムで、2016年4月にタイで発売。アジアで順次販売承認を申請。										
ロメリジン塩酸塩	DE-090	緑内障	MSD	日本						
視野欠損の進行抑制作用を有する新しい緑内障治療剤。カルシウム拮抗作用に基づく経口緑内障薬としては、唯一の開発薬剤。NMDA受容体拮抗剤と異なり、全身性の副作用が軽微であり、高い安全性を有する。										
シロリムス	DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国 日本 欧州 アジア						2015年4月
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国、欧州で販売承認申請を準備中。2015年4月、アジアで販売承認を申請。										
タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩	DE-111	緑内障・高眼圧症	旭硝子と共同開発	韓国 アジア						2016年4月 2016年3月
プロスタグランジンF ₂ α誘導体およびβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。欧州において、2014年10月に販売承認を取得し、2015年1月以降、順次発売。2016年4月、韓国にて発売。アジアで順次販売承認を申請しており、タイ等で販売承認を取得。										
オミデナパグ イソプロピル	DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と 共同開発	米国 日本						(フェーズ2b/3)
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。2015年2月、米国でフェーズ2b試験を終了。2015年12月、日本でフェーズ2b/3試験を開始。韓国、アジアでフェーズ3試験を準備中。										
タフルプロスト	DE-118	緑内障・高眼圧症	旭硝子と共同開発	アジア						2016年4月
プロスタグランジンF ₂ α誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。防腐剤を含まない、1回使い切りタイプの製剤。2013年10月、日本で発売。2015年6月以降、香港などで販売承認を取得し、その他のアジアで順次、販売承認を申請。2016年4月以降、シンガポール等にて発売。										
未定	DE-120	滲出型加齢黄斑変性	自社	米国						
VEGFおよびPDGFの阻害作用(デュアル阻害剤)を有する硝子体内注射剤。2015年4月、米国でフェーズ2a試験を開始。										
carotuximab	DE-122	滲出型加齢黄斑変性	TRACON社	米国						(フェーズ1/2)
抗エンドグリン抗体の硝子体内注射剤。2015年9月、米国でフェーズ1/2試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
sepetaprost	DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国	(フェーズ2a)					
FP受容体およびEP3受容体への作動作用(デュアル作動薬)を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国にてフェーズ2b試験を準備中。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
—	DE-128 (InnFocus MicroShunt)	緑内障	自社	米国						
				欧州						
2016年8月、InnFocus MicroShuntを開発するInnFocus社を買収。原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。										

一般名	開発品名	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	Cyclokot	ドライアイに伴う 重度の角膜炎	自社	欧州						2015年7月
				米国						
				韓国					2015年12月	
				アジア					2016年11月	
免疫抑制作用により、ドライアイに伴う重度の角膜炎を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2015年7月以降、ドイツおよびイギリス等、欧州で順次発売。アジアで順次販売承認を申請しており、2016年11月、タイで販売承認を取得。2015年12月、韓国で販売承認を申請。										

一般名	開発品名	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	Vekacia	春季カタル	自社	欧州						2016年12月
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2016年12月、欧州で販売承認を申請。										

一般名	開発品名	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	Catioprost	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
プロスタグランジンF _{2α} 誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。										

一般名	開発品名	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
デキサメタゾン パルミチン酸エステル	Cortiject	糖尿病黄斑浮腫	自社	欧州	(フェーズ1/2)					
抗炎症作用を有する硝子体内注射剤。										

■2016年度第2四半期決算発表時(2016年11月2日)からの変更点

開発コード / 品名	変更点
Cyclokot	2016年11月、タイで販売承認を取得。
Vekacia	2016年12月、欧州で販売承認を申請。

(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費

■設備投資

(単位：百万円)

	2016年3月期		2017年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
設 備 投 資 額	3,088	4,474	4,091	7,070

■減価償却費及び償却費

(単位：百万円)

	2016年3月期		2017年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
総 額	2,284	3,133	2,554	3,500
製 造 経 費	1,071	1,445	1,116	1,590
販 売 管 理 費	693	1,035	918	1,250
研 究 開 発 費	520	653	520	660

(注) 製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

(単位：百万円)

	2016年3月期		2017年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
総 額	4,589	6,205	4,761	7,050
メルク無形資産償却費	3,873	5,186	3,977	5,310
アイケルビス無形資産償却費	443	625	503	660
そ の 他	273	394	282	1,080

■研究開発費

(単位：百万円)

	2016年3月期		2017年3月期	
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	通期見込
研 究 開 発 費	14,284	19,990	15,930	20,400
対 売 上 収 益 比	9.6%	10.2%	10.6%	10.2%

なお、上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。